

地球環境とともに

持続可能な地球環境の構築に
寄与することが
私たちの使命であると
考えています。



環境保全への取り組み

事業活動を通じた環境負荷低減の取り組み

当社は、「脱炭素社会への貢献」をマテリアリティ(重要課題)と位置づけ、温室効果ガスの削減ならびに再生可能エネルギーの利用促進に取り組んでいます。

持続可能な社会の実現のために当社が最も寄与できることは、環境負荷の少ない建築設備の提供であり、そのためにもお客さまへの提案活動を積極的に推進しています。また、当社の事業活動にともなう環境負荷の低減も不可欠であり、オフィスならびに施工現場における省エネ、省資源化に取り組んでいます。

地球温暖化に影響するフロン漏れ防止、産業廃棄物の排出削減と分別、ならびに水使用量の削減や水資源の保全に対する取り組みを継続することも重要と考えています。

当社は、ISO14001の国内全事業所一括認証を維持し、社員および関係者が環境保全に対する認識をさらに深め、SDGsの達成や生物多様性の保全に貢献していきます。

環境マネジメントシステム 2020年度環境目標・活動結果

	主な目標または監視項目	2019年度実績	2020年度実績	2020年度目標	判定
温室効果ガス	Scope1(直接排出量)*1の把握と削減	1,929tCO ₂	1,783tCO ₂		—
	Scope2(間接排出量)*2の把握と削減	1,997tCO ₂	2,213tCO ₂		—
	Scope1+2(原単位)の把握と削減 完成工事高(百万円)当たりの温室効果ガス排出量	24.3kgCO ₂ /百万円	26.6kgCO ₂ /百万円		—
	消費電力量の把握と削減	3,971,195kWh	4,422,585kWh		—
	(うち再生可能エネルギー量)	(70,462kWh)	(100,397kWh)		—
	オフィスの温室効果ガス排出量の削減	1,529tCO ₂	1,637tCO ₂	1,600tCO ₂ 以下	△
	ハイブリッド車等エコカー導入率の向上	87.1%	94.1%	90%以上	○
	Scope3 CATEGORY11*3の削減提案の推進 設計提案によるCO ₂ 削減提案量	27,844tCO ₂	34,079tCO ₂	30,000tCO ₂ 以上	○
Scope3 CATEGORY11の削減提案の推進 設計提案の採用によるCO ₂ 削減貢献量	14,968tCO ₂	20,494tCO ₂	15,000tCO ₂ 以上	○	
廃棄物	産業廃棄物総排出量の把握と削減	8,251ton	6,493ton		—
	産業廃棄物最終処分量の把握と削減	1,124ton	885ton		—
	オフィスの一般廃棄物排出量の把握と削減	89ton	103ton		—
	産業廃棄物の分別の推進 作業所当たりの産業廃棄物分別数の向上	4.2/作業所	4.2/作業所	4.2以上/作業所	○
水資源	水資源投入量の把握と削減	55,761m ³	58,690m ³		—
	(うちオフィスにおける水資源投入量)	(14,448m ³)	(12,287m ³)		—
	水資源投入量(原単位)の把握と削減 完成工事高(百万円)当たりの水資源投入量	0.345m ³ /百万円	0.390m ³ /百万円		—
その他	グリーン購入率の向上	46.7%	48.9%	50%以上	△
	オフィスにおけるコピー用紙使用量の削減	57.4ton	51.7ton	56ton以下	○

*1 Scope1: ガス、灯油、ガソリン消費によるCO₂排出量 *2 Scope2: 二次エネルギー(電力)消費によるCO₂排出量 *3 Scope3 CATEGORY11: 施工した設備の運用に関するCO₂排出量

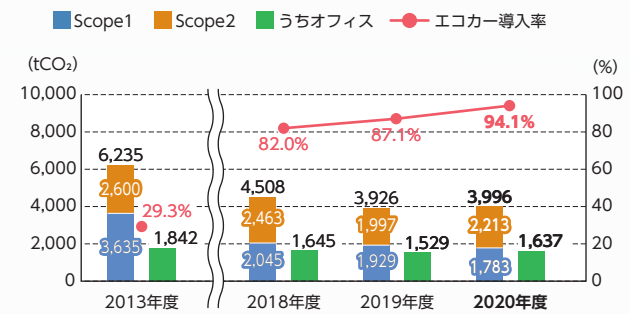
温室効果ガスの排出量削減への取り組み

当社は、オフィスの消費エネルギーの削減、エコカーの導入の促進に取り組んでいます。

2020年度はコロナウイルス感染予防対策のための換気量の確保等により消費エネルギーは増加となりました。

2020年度のオフィスの温室効果ガス排出量は2013年度比11%の削減となっています。また、エコカーの導入が進んだことで2020年度の温室効果ガス排出量は2013年度比36%の削減となっています。

温室効果ガス排出量実績

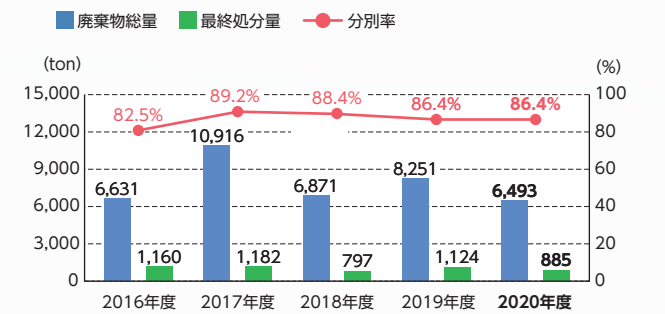


産業廃棄物の分別への取り組み

当社は、すべての施工現場で廃棄物の分別を推進しています。2020年度に当社が排出事業者となった施工現場の産業廃棄物総排出量は、約6,493ton、分別率は86.4%となりました。また、オフィスにおいても廃棄物の削減と分別を推進しています。

2020年度のオフィスからの一般廃棄物量は、約103tonとなりました。

産業廃棄物の分別実績



品質環境マネジメントシステム

品質環境マネジメントシステム品質環境方針

経営理念「総合設備業者として常に新たな価値の創造に挑戦し、より良い地球環境の実現と社会の発展に貢献する」に基づき、品質の確保と環境の保全に貢献する企業活動を実践し、お客さまの満足向上を目指すとともに、持続可能な社会の実現に寄与する。

- 品質環境に関わる法令および社会規範ならびに当社が定める諸規程を順守し、社会の発展と地球環境保全に貢献する。
- 現場力の強化、生産性の向上を図るとともに、社員の能力向上および協力会社との関係強化に努め、確かな品質を提供する。
- 環境負荷の低減および資源やエネルギーの有効利用に寄与する技術の開発・提案・施工に取り組む。
- 企業活動を通じて気候変動の緩和、水資源の保全に取り組み、生物多様性および生態系の保護に貢献する。
- 企業市民として環境・社会貢献活動に取り組むとともに、積極的に情報を公開し、社会とのコミュニケーションを推進する。
- 品質環境目標を社内に周知し、その活動成果の向上のため、改善を継続する。

水資源への取り組み

当社は、オフィスならびに施工現場における水資源投入量の把握と削減に取り組むとともに、お客さまへの雨水利用、排水再利用、節水型器具等の水資源有効利用提案を積極的に推進しています。

また、海岸や河川の美化・清掃活動など地域の環境貢献活動への参加を促進しています。

研究開発から生まれた廃棄物削減の新規事業 - エアフィルタ再生サービス -

超臨界CO₂*によるエアフィルタ再生サービス

工場では、VOC(揮発性有機化合物)を除去するエアフィルタや吸着材が多量に使用され、寿命になると廃棄されています。ダイダンは持続可能な循環型社会を推進するため、超臨界CO₂を用いて、使用済みエアフィルタの再生事業を行っています。

繰り返しエアフィルタを再利用できるため、廃棄物の削減効果が高く、SDGsへの貢献やESG投資への対応を推進している企業から高く評価されています。2014年に事業を開始し、お客さまからのリピートを数多くいただき、約50tonの廃棄物量の削減に貢献しました。

* 超臨界CO₂: 臨界点以上の温度・圧力状態の二酸化炭素であり、気体の拡散性と液体の溶解性を併せ持つ流体

